

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	牛伏川を伝えよう防災遺産活用事業		
事業主体 (連絡先)	牛伏鉢伏友の会	代表者：加藤 輝和	
		松本市内田 2151-4	tel 0263-58-8295
事業区分	401 地域防災力の向上 703 生涯を通じた学びと文化スポーツに親しむ環境作り		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	637, 330 円 (内支援金 480,000 円)		

事業内容

牛伏川の歴史的砂防施設を防災遺産として地域により広く知ってもらうため、現地調査、現地案内活動、現地の環境整備に取り組む。また「防災遺産学習講座」を開催し、市民による案内活動を継続する。

- ・6月～2月 防災遺産学習講座5回実施
- ・4月～11月 牛伏川の砂防施設などの見学案内
- ・見学者のために資料作成、案内看板の作成等

事業効果

- ・防災遺産学習講座への参加者が意欲的な学習、現地での学習を行えた。
- ・講座で養成された案内人が、実際の見学案内に取り組み、見学者の増加に対応した。人数は増加できなかった。
- ・行政(県及び松本市)や地元との連携会議と現地立ち会いを行い、取り組みに関する意見交換、見学環境整備の課題について検討した。その結果、県道からの案内看板の設置(建設事務所施工)が実現できた。
- ・防災遺産への見学をわかりやすく案内するリーフレットの改訂と案内用看板の追加設置などを実施した。
- ・環境整備(草刈り)を他団体の協力をえて実施した。

今後の取り組み

- 1) 市民の財産として防災遺産牛伏川の魅力をさらに広めるため、広報や資料により発信を継続する。
- 2) 案内活動は継続するが、案内者活動に参加できる市民の増加、案内活動を継続できる仕組みなどの確立が課題である。
- 3) 見学者の増加に応える現地の環境改善(駐車場の拡大、トイレの改善、看板の充実)、市民の認知度向上、観光客の増大などにつなげるため、県及び市との連携を継続していきたい。

※自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

防災遺産学習講座

現地学習講座に多くの参加者



【目標・ねらい】

- 防災遺産の魅力発信
- 市民参加
- 魅力の発信、広報の充実
- 行政との連携した活動

※2自己評価(事業効果)【 B 】

【理由】

行政機関と協力し、牛伏川を防災遺産として活用する事業に着実に取り組めた。講座を通じ、見学案内などに取り組める市民はまだ少ないが、見学者が増加しており、案内活動に実績がえられた。